

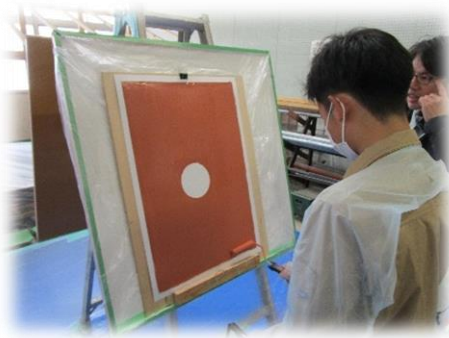
R6 建築デザイン科 活動報告⑥ ～外部連携（大林組名古屋林友会）～

体験的な実習を通して、建設業の魅力を伝えるために愛知県立東三河高等技術専門校及び大林組名古屋林友会と連携して、本校建築デザイン科2年生を対象に校内技能体験会を実施しました。実施日は、1月31日（金）に1限目から6限目まで行いました。生徒は真剣に実習に取り組んでおり、生徒にとって貴重な体験となりました。関係者の皆様方ありがとうございました。

【技能体験会の様子】



クレーン実習（ミック）



塗装実習（飯味塗装工業所）



左官実習（夏目組）



造園実習（岩間造園）



ガラス実習（竹甚板硝子）



造作木家具実習（村井工業）



金属実習（弘和建商）



建設重機実習（山崎建設・宮本組）



とび土工実習（伊藤工業・豊徳）



進学説明会（東三河高等技術専門学校）

建設技能の出前授業 現場の実務作業体験

碧南工科高生

碧南市丸山町の碧南工科高校で31日、建設現場の作業員らに学ぶ建設技能フェアが行われた。建築デザイン科の2年生36人が参加し、実務的な作業を体験した。

建設技能労働者はピークだった1997年の464万人に対し、2022年には305万人と3分の2に減少。高齢化も進み、この先10年で大量の引退者が見込まれており、若手の確保が急務となっている。

こうした状況を踏まえ、建設業「大林組」名古屋支店の協力会社88社でつくる「大林組名古屋林友会」が2年前から、年5校程度で出前授業としてフェアを開催しており、同高では初めて。12社から40人ほどが指



慎重にバーナーを使う生徒ら―碧南市丸山町で

中日新聞 西三河版

2月1日(土)掲載

導に訪れ、生徒は珪藻土を使った内壁の左官作業、大型クレーン車の操縦、足場設置などの業務10種をグループ別に巡回し体験した。アセチレンバーナー、油圧装置を使い鉄筋2本をつなげるガス圧接では生徒が実際にバーナーを使い、高温の作業に目を輝かせた。

「もともと植物が好きだった」という角岡諒哉さん(17)は「造園実習が一番楽しかった。枯れた部分を切除すると木が元気になるなど、貴重なことを学べた」と笑顔。同会の夏目幸一会长(52)は「建設業の魅力を少しでも感じてもらえれば」と話した。

工高生が専門工事 10種を実習体験

名古屋林友会ら
建設技能フェア

愛知県立東三河高等技術専門校は1月31日、同県立碧南工科高校、大林組名古屋林友会と連携して、碧南市の同高校で建設技能フェアを開いた。同高校建築デザイン科2年生約40人が参加した。建設専門工事の仕事内容や魅力などの説明を受けた後、建設技能者の指導の下で、とび土工



とび土工を体験する生徒

や鉄筋ガス圧接など建設専門工事10種を実習体験した。建設専門工事の人手不足解

消の支援を目的に開催した。同専門校の野地悟校長は「10種の実習が体験できる貴重な機会だ。進路選択の参考にしてほしい」、同高校の河合貞俊教頭は「現場で働く人にかつからないことがある。しっかりと話を聞いて、学んでほしい」と呼び掛けた。

同会の夏目幸一会长は「建設業界では人手不足が特に進んでいる。今後は年齢を理由に引退者も増える見込みだ。生徒の皆さんが建設業を選んでくれることを期待している」と述べた。

実習体験の工種と指導した建設技能者の所属企業は次のとおり。
▽とび土工(伊藤工業、豊徳)
▽鉄筋ガス圧接(嘉藤工業所)
▽左官(夏目組)▽ガラス(竹基板硝子)▽塗装(飯味塗装工業所)
▽金属(弘和建商)▽造作木家具(村井工業)▽造園(岩間造園)
▽クレーン(ミック)▽建設重機(山崎建設、宮本組)。

日刊建設通信新聞

2月3日(月)掲載

建通新聞

2月4日(火)掲載

碧南工科高で建設技能フェア

建築デザイン科2年生が体験



圧接を行う高校生(右側)

愛知県立東三河高等技術専門学校は、建設専門工事の人手不足の解消を支援するため、1月31日に愛知県立碧南工科高校建築デザイン科2年生38人を対象に建設技能フェアを同校で開催した。大林組名古屋林友会の協力を得て、生徒は、とび土工、左官、塗装など10種の業種を体験。鉄筋ガス圧接で3000度の特殊なバーナーを使用して圧接実習を行った生徒からは、「これまでに見たことがない貴重な体験ができたのが良かった。就職先の選択肢が増えた」と感想を述べた。(3面に関連記事)

社会の役に
立つと思える

大林組名古屋林友
会が実習に協力

■面関連「碧南工科
高校(碧南市丸山町)で
行われた建設技能フェア
には、大林組名古屋林友
会(夏目幸一会長)から、
とび土工(伊藤工業、豊
徳)、鉄筋ガス圧接(嘉
藤工業所)、左官(夏目
組)、ガラス実習(竹甚
板硝子)、塗装(飯味塗
装工業所)、金属(弘和
建商)、造作木家具(村
井工業)、造園(岩間造
園)、クレーン(ミック)、
建設重機(山崎建設、宮
本組)の10業種が実習に
協力した。

冒頭のあいさつで夏目



左官体験の様子

会長は、「道路、ダム、
トンネルなどを造ること
以外に自然災害の復興支
援なども建設会社が行
う。社会の役に立つと思
える実感『ものづくり』
の中でもスケールの大き
さ、その建造物を専門
工事会社の仲間が協力
して造り上げる喜びが
この仕事の魅力だ」と話
した。

同校は、毎年出前授業
や技能体験を行っている
が、10業種の専門工事に
社による体験授業は今回
が初となる。

2月14日(金)掲載

らしいなど思ってた作り 利用していただきたい」と話します。 95・9894

碧南工科高校で建設フェア

生徒がプロの仕事を体験

クレーンの操縦や足場組み

碧南工科高校と大林組名古屋林友会(建設業)が連携して1月31日、県立高校では初めてとなる「建設技能フェア」が、同校で行われました。

同校建築デザイン科の2年生を対象に、専門工事の技能体験を実施。建設業のやりがいを伝え、進路選択に生かしてもらうことなどを目的に開催されました。

同会会長の夏目幸一さんは「建設業の魅力を少しでもお伝えでき

のプロが講師となり、9業種の仕事を体験しました。

足場を組む実習では、道具の持ち方や力の入れ方のコツを教えてもらうと、負担を軽減して作業ができたことに、生徒らは驚いた様子で取り組んでいました。

生徒は、班ごとに分かれて、とびや左官・塗装、造園、クレーンなど、12業者の約40人



操縦席でクレーンの操縦を教わる生徒



足場作りを体験する生徒

クレーンの操縦を体験した漆館英士さんは「最初は、レバーがた強くあったけれど、思うようにできました」といきいきとした表情で話しました。

体験を見に来ていた保護者は「実際にやってみると、自分の将来が明確になってくると思います。良い機会ですね」と見守っていました。

キャッチネットワーク ケーブル TV

1月31日(金)放送

